

『水彩画が楽しくなる表現力のきほんの「き」』<2026年1月号>

小原直子/監修(大月書店 2025.01)

場所:児童【K724/スイ】

絵を描くことに対して、苦手意識を持っていませんか?そんな人でも、基本をつかむときっと楽しくなります。この本では、透明感のある豊かな色彩が魅力的な水彩画の、きほんの「き」を学ぶことができます。「きほん」という部分は簡単そうに思えますが、とても大切なポイントがたくさん詰まっている部分でもあります。

『ゆるめて解決!ゆるスポーツからはじめよう』<2025年4月号>

世界ゆるスポーツ協会/監修(ほるぶ社 2024.12)

場所:児童【K780/イマ】

「ゆるスポーツ」は、スポーツが苦手な人でも、心や体に障がいがあっても、小さい子どもでも高齢者でも、どんな人でも勝っても負けても楽しめる新しいスポーツです。「ハンギョボール」や「トントンボイス相撲」など、名前を聞くだけでおもしろそうですね!時々、たくさん笑って体を動かして、心と体をゆるめることに取り組んでみてはいかがでしょうか?

『地球変動の犯人を追って、科学者、海にもぐる!』<2025年11月号>

佐野貴司/著(河出書房新社 2025.08)

場所:ティーンズ【Y455/サノ】

この地球の表面積の70%は青い海に覆われています。深い海の底には、目で見ることのできないたくさんの秘密が眠っているのです。恐竜の繁栄と絶滅、火山の大噴火、海に沈んだ幻の文明大陸……その謎を解き明かすべく、著者は潜水調査艇で海に潜ります。謎につつまれた古代から未来まで、秘密を探る冒険に心が躍る一冊です。



◀発行▶

関市立図書館 指定管理者 学校法人岐阜済美学院

TEL:0575-24-2529/FAX:0575-23-7780

E-mail:lib@city.seki.gifu.jp

2026.03発行

司書のおすすめ ◀2025年版:こどもの本▶

SEKI CITY LIBRARY

BOOK REVIEW

※2025年4月号~2026年3月号の図書館だよりで紹介した本



『カップおんせん、あわあわあわ』<2025年9月号>

片平直樹/作 高畠那生/絵(ひさかたチャイルド 2024.05)

場所:絵本【E/カツ】

暑さでぐったりしたカップを連れて帰ってきたお父さん。ぼくがお風呂で頭のお皿に水をかけると気がついて、「お礼をいたします」とせっけんを泡立てます。泡が消えるところは広い露天風呂。カップたちが集まってきておもてなしが始まります。お風呂タイムが楽しくなりそうな絵本です。

『大ピンチずかん3』<2025年7月号>

鈴木のりたけ/絵(小学館 2025.04)

場所:絵本【E/ダイ】

この本は、割りばしが割れない、へんな日焼けをしたなどの子どもたちを襲う誰もが思わず心当たりがある大ピンチに対して、その原因や乗り越える方法を教えてください。今回は、「うっかりメーター」でピンチのレベルの大きさが分かるように進化を続けていますが、親子で一緒に楽しめて、大爆笑に満ちた内容はそのままです。日常生活の中で、ふとした拍子に突然やってくる大ピンチに陥ったら、この本を思い出してその原因を考えて乗り越えていくことを願っています。

『パンケーキ100まいたべたいの』<2026年3月号>

石川えりこ／作 絵(ポプラ社 2026.01)場所:絵本[E/パン]

いいお天気でみつあみも上手にできた日、おいしいパンケーキを100まい食べたくなった女の子。材料を買いに出かけようとすると、大きな黒猫が現れて女の子を背中に乗せてくれます。いろいろなお店に寄るたびに、運んでくれる猫がどんどん増えて…。さて、女の子とたくさん猫たちは、無事100まいのパンケーキを食べられるのでしょうか。パンケーキの歌と一緒に歌いたくなる絵本です。

『ほしのつくりかた』<2025年12月号>

みやぎひろかず／作絵(ひかりのくに 2025.08)

場所:絵本[E/ホシ]

夜空でかがやく星をみると、どんな気持ちになりますか？うちゅうのかわのそばに住んでいる「ほしや」さんは、何万年もかけて、たくさん星のほしをつくりまわります。かわにうがぶしやぼんだまを、すくってあつめて、びんにつめて…この絵本には、ほしのひみつがたくさんつまっています。はるかとおくでかがやく美しいほしを、身近に感じることができるかもしれない、そんな絵本です。

『やなせたかし物語

なんのために生まれてなにをして生きるのか』<2025年8月号>

やなせスタジオ／作絵(フレーベル館 2025.05)

場所:児童[K289/ヤナ]

戦争を経て、「本当の正義とは何か」を生涯考え続けたアンパンマンの作者、やなせたかしの伝記絵本です。モチーフは、やなせさんが自画像がわりに描いていた「やなせうさぎ」。親しみやすい絵とともに、なんのために生まれてなにをして生きるのか？…その答えをさがしてみませんか？

『宇宙のクイズ図鑑』<2025年10月号>

Gakken(Gakken 2025.07)

場所:児童[K440/ガツ]

地球の外側の世界、宇宙。宇宙は不思議でいっぱいです。みなさんは、太陽はどのくらい熱いのか、月の重力はどれくらいかなど考えたことはありませんか？私たちが疑問に思っていることを三択のクイズ形式で学ぶことができます。これを読めば宇宙はかせになれるかも……？

『しんぞうとひげ ゆかいなはなし ティンガティンガ・アートでたのしむ アフリカのむかしばなし③』<2025年6月号>

しまおかゆみこ // 編 再話 ムブカ // 絵 レイモンド // 絵 チャリンダ // 絵

(かもがわ出版 2025.03)場所:児童[K388/シマ]

21日間何も食べずにおなかがぺこぺこのしんぞうとひげ。2人が出会ったとき、とんでもないことになって…?!日本ではあまりなじみのないアフリカのゆかいな昔話が読めます。シリーズの1冊目「どうぶつ村の井戸 なぜなぜばなし」、2冊目「シャターニに育てられたむすめ こわいはなし」も合わせておすすめします。

『ふしぎなくも』<2025年5月号>

荒木健太郎／著(金の星社 2024.05)

場所:児童[K451/アラ]

空を流れる雲にはいろいろな形があるのを知っていますか？変わった雲を見つけた時に、何かに似ている！と考えることもよくありますよね。でも、雲にも色々な名前があって、雨が迫ってきていることを教えてくれることもあります。雲を知って、空を眺めてみませんか？青い空と雲を眺めていたら、ちょっとだけ幸せな気持ちになるかもしれません。

『命の宿題「殺処分ゼロ」を語った日から…』<2026年2月号>

今西乃子／著 浜田一男／写真(新日本出版社 2025.09)

場所:児童[K645/イマ]

今から20年前、1年で36万頭の犬猫が殺処分されていました。しかし今では1万頭以下に減っています。これは殺処分される犬猫を減らしたい、と活動してきた人たちがいたからだと思います。

この本は、そんな殺処分ゼロめざした人たちのおはなしです。ペットを飼っている人だけでなく、これから飼いたいと思っている人たちにも読んでほしい1冊です。

